

平成30年度職員提案 採用提案一覧(21件)

管理番号	提案タイトル	提案内容
2018003	共通消耗品の新規導入について	共通消耗品におけるふせんについて、現在の紙製のものに加えてプラスチック製導入を希望します。理由は耐久性があり繰り返し利用することができるためです。
2018018	公用車の後部座席におけるシートベルトの着用について	シートベルトの着用義務は高速道路だけなのでは？と勘違いされている職員が大半だと思います。平成20年6月からは後部座席であっても一般道路ではシートベルト着用が義務化されています。罰則は高速道路だけですが、一般道路において職員はシートベルトをしなければいけないこととなります。毎年、数名の職員が交通事故にあい、怪我をしている現状から、職員の身の安全を守り、市民の見本となるように、「後部座席シートベルト着用」を公用車内外に貼り紙してはどうでしょうか。また、車両担当で鍵を借す時、「後部座席シートベルト着用」のひと声をかけたり、月初めの1日に着用パトロールを行うなど注意喚起を積極的に行ってはどうでしょうか。
2018025	P S メールに一言追加	現在やまとP S メールではカテゴリーに応じて様々な情報を配信しています。市としても同メールを活用して、防犯・防災など様々な周知・啓発を行っているところですが、担当部署によって文面の形式は様々です。そこで、現在配信の文章の最後に原則的に以下の文言を追加することを提案します。 「この情報を知ることが難しい御家族の方や知人にもお伝えください」 【効果】 この文言により、人に伝えたほうがよい情報である認識をしてもらうことで、普段の何気ない会話に加えてもらえる可能性が高くなります。費用もかからない方法で、少しでも周知効果を上げる手法としては一定の効果があると考えます。
2018032	福祉センターホールトイレ	福祉センター1Fホールの舞台裏近くのトイレですが、表示がわかりにくいです。男子トイレの入り口に男子・女子の両方の掲示があります。矢印をいれるなど、どちらがどちらのトイレかわかりやすくしたほうがいいかと思います。(数人間違えて入っている人をみかけました。)
2018034	P S メール	エリアを特定し防犯のPSメールも受け取れるようにしております。そうすると、振り込み詐欺メールのなんと多いことか。若い世代など、毎日のように同じメールを見なくても十分わかっています。もう少し細分化して受け取れるメール選択をできるようにしてほしいです。友人でも振り込み詐欺メールばかりくるのでPSメールを解除した、という声を聞きます。
2018038	新「あいさつ運動」の発声内容の追加について	現在は、「おはようございます」、「ありがとうございます」、「今日も一日、よろしくお願ひします」の3種類の内容ですが、接遇の基本も踏まえ「少々お待ちください」、「大変お待たせいたしました」等の内容も加えることを提案します。内容は、職員から募集し多数の場合は「ありがとうございます」を中心に月替わりで実施する。
2018041	パソコンのショートカットキー一覧表をイントラに公開	ワードやエクセルなど、パソコンのショートカットキー一覧表をイントラに公開してほしいと思います。先日、パソコンの本を購入しましたが、以前に受けたパソコン研修などでは教わっていないショートカットキーがまだまだたくさんあることを学びました。これらを知っていると知らないでは、作業効率も大きく違うと思います。そこで、このショートカットキーの機能を職員全体で共有し、作業の効率化を図ればと思います。

管理番号	提案タイトル	提案内容
2018048	市役所本庁舎に貸出し用ベビーカーを設置	<p>0～1歳の子供を抱っこひもでかかえて市役所に各種手続きにいったことがあります。窓口で書類の記入するのがかなり困難でした。</p> <p>また、窓口を立って待っている間や、他の窓口に移動するのも骨が折れます。</p> <p>デパートやショッピングモール、博物館、他市の市役所（例：茨木市 http://www.city.ibaraki.osaka.jp/shisei/gyoseikiko/shiyakusho/1310620013071.html）等にあるような貸出し用のベビーカーが玄関横等に設置してあると、たいへん助かると思います。</p> <p>実際、職員として本庁舎をみていると、小さな子供を抱っこひも等で抱えて来庁されている方を多く見かけます。たまに、一階のチャイルドスペースに子供を入れたまま放置して手続等に行かれる方もみかけますが、子供を抱えたまま手続きをするのが非常に困難な現状、心情的にはやむを得ない部分があると思われま。</p> <p>こういった来庁者にとって親切で行きやすい市役所であるために、また子育て世代を応援する大和市をPRするためにも、どうか本庁舎への貸出しベビーカーの設置をご検討ください。</p>
2018052	過去の職員提案一括検索用データベースの公開	<p>ここ数年の職員提案では、過去の提案とほぼ同じ内容の提案や、既に対応方針が示されている内容に対しての提案が度々出されているのが散見されます。</p> <p>職員提案のリーフレットでは「過去の提案内容、採否結果を行政改革推進課のイントラから確認したうえで提案」するよう案内されていますが、職員提案制度の歴史は意外と長く、イントラから詳細が確認できる平成22年度以降の分だけでもその情報量は膨大であるため、提案をしようとする職員一人一人が、これらの過去データをすべて確認するのは時間的損失が大きく、実際、多くの職員が過去データを十分に確認できないまま提案している実情があるように思われます。</p> <p>特に、提案内容の詳細データと、採否結果のデータとが別ファイルとなっており、それがさらに年度ごとに分かれていることにより、過去の提案内容と採否結果を把握するためには、複数のファイルを何度も開き照合しなければならない点が問題で、「自分のしたい提案と似たような提案が過去にされているかどうか」を確認するだけでも検索に相当の手間がかかってしまう現状にあります。</p> <p>そこで、過去の提案内容と採否結果を一括検索して確認できるような検索用のデータベースを公開していただければ、多くの職員の利便にかなない、職員提案のハードルも下がるのではないかと思います。</p> <p>データベースといっても、必ずしも本格的な検索システムである必要はなく、例えば一つのエクセルファイルの1シート内に過去すべての提案詳細と採否結果がまとめられた表で「Ctrl+F」などの標準機能でキーワード検索できるようになっているような簡単なものを公開していただくだけでも、十分に検索・確認がしやすくなるかと思えます。</p> <p>どうかご検討ください。</p>
2018055	廃棄物処理の実務研修の実施と共通マニュアルの作成	<p>行政サービスを実施する中で、市が廃棄物の排出事業者になる場面がありますが、一部で法令に違反した処理が見受けられます。</p> <p>そこで、専門家による実務研修の実施と共通マニュアルの作成を提案します。</p>
2018058	おむつ用ごみ箱の設置	<p>女子トイレ等におむつ替え台がありますが、おむつ用の専用ごみ箱がないため、普通のごみ箱におむつを捨てている市民の方がいます。</p> <p>これからの時期匂いもひどくなりますし、衛生面からもおむつ専用のごみ箱を設置した方がいいのではないのでしょうか。</p>
2018063	採用提案実施状況の「見える化」を	<p>職員提案での採用意見ですが、その後の実施状況や進捗状況について、イントラネット等での開示により「見える化」することを提案します。その理由として、提案者として感じることで、これまでに提案した意見の進捗具合がよく分からないからです。現在のイントラネットでは、提案一覧や審査結果が掲載されているだけであり、採用された提案が各所管課においてすぐに実行に移れないとしても、提案者への説明責任は本来事務局にあるものと思います。</p> <p>また、過去の職員提案において『「こんなはずじゃなかった」を防ぐ職員提案をよりよくする職員提案（2015074）』がありますが、私自身これまで打合せをした機会はなく、この提案の実施状況にも疑問を感じています。</p> <p>採用提案実施状況の「見える化」をおこなうことで、自分のおこなった提案がどの程度取り組まれていて、何が妨げとなっているのかを確認することができます。制度を意義あるものとするためにも、提案者への丁寧なフィードバックとともに進捗状況の開示は必要なことと考えます。</p>

管理番号	提案タイトル	提案内容
2018065	職員多言語ガイドの募集方法の再検討	<p>現状： 平成27年2月から実施されている職員多言語ガイドの登録職員が当初より増えていないことに、驚きとさみしさを感じています。本市は外国人の在住者が多い都市であるだけに、この制度が大和市に在住されているもしくは在住されるであろう外国人の方に対して、役所の説明や手続きの際の対応で、日本語では不安のある方に、共通言語という安心感をあたえる大事な市民サービスです。</p> <p>この制度を実施できるスキルのある市職員が制度開始以降増えていないことに対して、周知の仕方に問題があるのではないかと思います。</p> <p>YamatoStaffNetwork内の人財課のページには制度の趣旨や当時の募集チラシがありますが、このようなページの使い方は制度を知りたい職員が見に行く場所となっていて、すべて受け身の姿勢であり、積極的に人材を確保するこの制度には向いていないのではないかと思います。</p> <p>28年度、29年度、30年度入庁された職員で、この制度に登録している職員がいないように感じます。</p> <p>提案： 新人職員研修では色々と組織や社会人の心得を覚える時期なので、趣旨は理解できても手をあげづらいこともあります。なので、毎年入庁から3年目になる職員のスキルアップや人事評価の評価点とする等、この制度の募集方法の周知を提案します。</p>
2018067	優秀な職員の流出（退職）阻止を。	<p>過去に業務を共にしていた優秀な複数職員が、専門性の強い他官庁に転職いたしました。将来大和市職員の中核を担うと期待されていた職員達であったため非常に残念でなりません。転職した理由は様々あるのですが、「とある専門性のある業務で自身の力を発揮し、市民のためになりたかったが、FA制度の変更（10年未満の勤務実績だと適用外になった事）や事務職でも専門職化の制度がなかった事がその理由」という話も聞きました。その者達が転職した官庁はその業務に付いていた他官庁の職員を優先的に採用したりして、優秀な人材を確保しているとの話も耳にします。預かった職員を大事に育成して、人事異動で他の部署に行くならまだしも、退職されたら何の意味があったのか？とも考えてしまいました。事務職員でも専門職化や、柔軟なFA制度としてもよいと考えますが、いかがでしょうか？</p>
2018070	本庁舎北側の出入口の案内表示について	<p>本庁舎の1階には、出入口が3か所ありますが、そのうち北側の出入口の場所が分かりにくいです。北側には、会議室棟があり、税の申告の受付や選挙の投票事務の会場になっている時などに、来庁された市民の方から、会議室棟の場所を聞かれることがよくありますが、言葉で説明するのが難しいのが現状です。</p> <p>そこで、北側の出入口の場所を分かりやすくするために、「北側出入口はこちら」と目立つように表示をした上で、床面に矢印を書いたり、ラインを引いたりしたらどうかと思います。</p> <p>北側出入口付近がクランク状になっているのを改善できれば一番いいのですが、すぐに対応できるものではないと思いますので、せめてもう少し案内表示を分かりやすくできないかと思います。</p>
2018071	会議室・講堂等の初期状態の表示について	<p>共用の会議室や講堂などは、使用後に机や椅子などの備品を元の状態に戻して返すのが通常ですが、初期状態を図や写真等で掲示してあると現状復帰しやすく、また貸す側の所管課も返却を受けた後の直しの手間が減り、管理が楽になると思います。</p> <p>掲示がなじまない場合は、ファイル等にまとめて、会場の鍵の貸し出しや返却のさいにあわせて受け渡すといった方法をとることも可能です。</p> <p>この取り組みは、貸す側と借りる側の双方にメリットがあるものと考えます。</p>
2018072	採用された職員提案の検討状況の公開	<p>採用された職員提案の検討状況が提案者にもその他の職員にもわからなくなっている。現状では厳正な審査の結果、提案が採用されたとしてもごく一部の実現が容易な提案のみすぐに実現し、その他の提案はそのまま長年にわたって放置されている印象を受ける。これでは新規に提案を受け付ける以前の問題であり、行政改革推進課としての取り組み姿勢に疑問を感じる。現状は異常な状況にあるという認識のもと、早急に検討状況を公開するよう求め提案とする。なお、同様の趣旨の提案は過去にも数回提起されており、採用もされているがこの提案についての検討状況すら一切わからない状況となっている。</p>

管理番号	提案タイトル	提案内容
2018077	カラーバリアフリーに配慮した資料づくりについて	市では各種事業を行うにあたり、市民や団体向けに様々な資料を作成し配布していますが、色覚に障がいがある方にとって見づらいのではないかと考える色使いの資料を目にすることがあります。 また、カラー版の資料をそのまま白黒印刷した場合に、色が薄くなり見えにくくなってしまいます。 街づくり総務課や管財課では、市内や本庁舎等に、カラーバリアフリーに配慮した案内板を設置しており、このような取り組みを各部署が作成する資料にも適用し、全庁的に広げていけると良いのではないかと考えます。 神奈川県が「カラーバリアフリー 色使いのガイドライン」を策定し公開しているため、参考にしてもよいでしょうか。
2018088	『3コール運動』の実施	民間企業では、CS向上がブランドイメージの確立や他社との差別化に繋がることが常識化し、様々な企業努力がなされています。また、一般顧客側にも企業のCS向上の取り組みや理念が浸透しており、CSは、民間企業のみならず、行政に対しても求められるよう広がっているように感じます。 そこで、本市のお客さまである大和市民から、「市役所の対応はいつも気持ちがいいな」「大和市役所は他の市役所と何か違うな」と感じていただくべく、『3コール運動』の実施を提案します。 『3コール運動』では、外線に出る際に、次の3点に取り組みます 1. 必ず3コール以内に出る。 2. まず「あいさつ言葉」を述べる。 10時まで 「おはようございます。大和市〇〇課、××でございます。」 10時以降 「お電話ありがとうございます。大和市〇〇課、××でございます。」 「こんにちは。大和市〇〇課、××でございます。」 3. 3コール以内に出られなかった時は、 「お待たせいたしました。大和市〇〇課、××でございます。」 と一言添える。 業務で近隣市に電話をかけた際、こうした電話対応をする自治体はありませんでした。3コール以内に電話に出る、あいさつ言葉を述べるといった簡単な取り組みだけで、市民満足度の向上や他自治体との差別化が図れると考えます。
2018092	清潔感のあるトイレで来庁者も職員も健康に	最近、少しサービスの行き届いた施設には、トイレに便座シートか除菌用アルコール類が備え付けられていることが多くなってきましたし、安心してトイレが利用できます。 そこで、本市も、来庁者と職員のトイレ環境をよりよいものに改善するために便座の除菌用アルコール類の設置を提案いたします。
2018099	公用車の洗車について	市の公用車が、外面、内面ともに汚い車が多々ある。 市や市民の財産である公用車が汚いのは、恥ずべきことだと思う。 洗車委託契約で、定期的に洗浄する。 または、洗車機を購入する。 計画的に職員自身で洗車をするなど、どんな方法でもよいので、定期的に洗車すべきと考えます。